

# ニュース 玉手箱



## うんまい自然薯 ぜひ食べて



**大** 石田北小の6年生児童が、自ら定植・収穫した自然薯の販売会を12月21日(火)、22日(水)にあつたまりランド深堀で開催しました。自然薯の定植と収穫を体験した同校の児童が、元気の良い掛け声で買い物客に自然薯を販売しました。

販売するにあたって児童たちは、大石田町新作物開発研究会(海藤明会長)のメンバーに販売の心構えや値付けの仕方などの指導を受け、店先でおすすめの食べ方を聞かれても答えられるように事前に勉強して販売会に臨みました。

このうち22日(水)には、販売会の開始時間前から自然薯を買い求めに来た来場者で行列ができるほどで、用意した自然薯はあっという間に売り切れになりました。

参加した児童の青木脩悟さんは、「すぐ売り切れになって驚きました。たくさんの人に買っていただいて嬉しいです。」と話していました。



▲完売御礼!

## きれいな歌声を響かせて

**大** 石田中では、月に1回をプレミアムデーとして学校が早く終わる日(午前授業の日)を設けており、下校までの時間を有効活用しようと合唱練習を行っています。声楽家の佐藤登さん、知里さんから指導を受け、町民歌と校歌を11月から月1回交互に練習しており、感染症対策のため、マスク着用で間隔を空けて行われています。

このうち12月15日(水)には、町民歌のパート練習が行われ、男声、アルト、ソプラノの3つのパートをそれぞれ登さん、知里さん、安達教諭が指導しました。男声パートの練習では、登さんの「歌うときのど声にならないように意識して歌いましょう。」というアドバイスを生徒たちがしっかり実践し短時間の練習でしたが、みるみるうちに改善していきました。

参加した生徒の早坂湊友さんは、「低い声あまり出ないため歌うのに苦労していました。登先生にのどの使い方を教えていただき、前よりうまく歌えるようになりました。」と話していました。



## 阿部茂さんが 保健衛生関係功労者知事表彰を受ける

**こ** の度、阿部茂さん(仲通)が、山形県知事から、保健衛生関係功労者表彰を受けました。これは、阿部さんが仲通地区衛生組織組合長として永年にわたり活動され、地区内の衛生改善や環境美化に積極的に努められたほか、町全体の指導者として環境衛生事業の活性化に特に寄与された功績が認められたものです。

大変おめでとうございます。



## 故郷の魅力 児童がかかるたで学ぶ

**大** 石田南小で12月9日(木)に第3回大石田かかるた大会が開催されました。これは、昨年度制作された「大石田かかるた」の活用策として、南っこ委員会(児童会)が企画したもので、今回で3回目の開催となります。

この日は、南小の全校児童54人がかかるた大会に参加し、練習の成果を披露しました。先生が読み札を読み上げると、児童たちは勢いよく手を突き出し、絵札をとっていました。

参加した六沢萌愛さんは、「1試合で最高18枚取ることができました。最後1位同点になり、決勝戦で負けてしまったけど、これからも練習を頑張りたいです。」と話していました。



▲1位同点のチームがでたため、急ぎよ決勝戦が行われることになりました。チームから代表選手1人が出場し、両選手一歩も引かない熱い試合を繰り広げました。

## バイオリンと歌の 優雅なメロディを楽しんで

**夕** 刻のバイオリン弾きが、12月6日(月)~8日(水)、10日(金)に虹のプラザエントランスホールで行われました。これは、冬の大石田AIR(アーティストインレジデンス)の一環で音楽家の小畑亮吾さんが行ったもので、町立図書館の閉館5分前をバイオリンの演奏と歌声でお知らせするというものです。

最終日の10日(金)には、会場に約40人の観覧者が訪れ、小畑さんの奏でる美しいバイオリンのメロディときれいな歌声に聴き入っていました。

町では今後、小畑さんが弾いたバイオリンの音源を、町の防災放送で吹鳴している「午後6時の時報のメロディ」として活用する予定です。

なお、開始時期は確定次第、改めてお知らせします。



◀小畑さんの演奏・歌声に合わせて、地域おこし協力隊の大橋武司隊員によるダンスの披露も行われました。



## 長沢依子さんが 社会福祉功労者知事表彰を受ける

**こ** の度、長沢依子さん(仲通)が、山形県知事から、社会福祉功労者表彰を受けました。これは、長沢さんが民生委員・児童委員として永年にわたり活動され、地域福祉の担い手として、住民個々の相談に応じ、その生活課題の解決にあたるとともに、地域全体の福祉増進のための活動に日々ご尽力された功績が認められたものです。

大変おめでとうございます。

